



佐賀市立金立小学校 学校便り 第12号

きんりゅう

学校教育目標 「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



令和6年6月26日発行 文責 校長 副島 和久

やっと実現しました 北山東部小学校の子どもたちとの交流！



学校 HP もご覧ください



6月26日(水)に北山東部小学校の子どもたちとの交流授業を行いました。金立小学校の前々任の教頭先生であった 内川 美喜 先生が校長を務める北山東部小学校は全校児童が13名のとても小さな小学校です。この日は、2時間目から3時間目にかけて、金立小学校に来ていただき、それぞれの学年・学級に入ってもらい、一緒に授業を行ったり、仲よくなるための楽しいゲームなどを行ったりしました。

最初は、お互いに少し緊張気味だったのですが、すぐに打ち解けて、楽しくお話をしたり、遊んだりしている姿を見かけました。限られた時間ではありましたが、と〜っても楽しい交流ができたと思います。

この交流が両校の恒例となり、子どもたち同士もお互いに成長しながら、毎年、会うことができるといいなと思いました。ぜひ、次年度は一緒に給食を食べたり、昼休みを過ごしたりすることができるとよいです。北山東部小学校の皆さん、先生方、ありがとうございました。また来てくださいね。



2年 音楽の授業「ドレミで遊ぼう」



3年 国語の授業「心が動いたことを詩で表そう」



6年 音楽の授業「器楽合奏」



1年 学級活動「みんな 仲よく」



4年 音楽の授業「いろいろなリズムを感じ取ろう」



1年 靴箱でお別れの場面

今年度初めての 年間読書目標達成者のみなさんです！

6月25日(火)の昼休みに、令和6年度初めての年間読書目標達成を果たした子どもたちを表彰しました。達成したのは以下の子どもたちです。おめでとうございます！

年間読書目標達成

5年1組 荒木 愛斗さん
4年1組 木下 結斗さん
3年1組 森 優翔さん
3年1組 宗田 一花さん
3年1組 篠原 百々花さん
3年2組 大津山 由愛さん
3年2組 永渕 陽葉里さん



6.26 全校朝会の校長の話 「命」と「いじめ」についての話

6月26日(水)の全校朝会では、「命」と「いじめ」について話をしました。

以下は、その中で金立小学校の子どもたちにお話をしたことの一部です。
ぜひ、ご家庭でも「命の大切さ」、「けっしていじめを許さない心」について、子どもさんとお話ししていただければと思います。



みなさんには等しく、1つの「命」があります。

みなさんは日頃、自分の命について、あまり気にしたことはないかも知れませんが、「命」はとても大切なものです。みなさんの身近な人、たとえば、おじいちゃんやおばあちゃんなどが亡くなられたことをおぼえている人はいますか。私も、大人になってから、お母さん、おばあちゃん、お父さんを亡くしました。身近な人の「死」に接すると、命の大切さがよく分かるかも知れませんが。

でも、この命を自分で絶ってしまう人もいます。その原因の一つに「いじめ」があります。

なぜなら、「いじめ」というのは、みなさんが人権集会で学んだ「人権」、つまり「安心」「自信」「自由」をこわしてしまうものだからです。例えば、人を「たたく」「ける」「おす」、人のものを「とる」「こわす」「かくす」、人の「悪口をいう」「チクチク言葉をいう」、人を「無視する」「仲間外れにする」・・・ みなさんはどうですか？ こんなことをしたりされたりしたことはありませんか？

された人が「嫌な気持ち」になることは「いじめ」です。

まず、自分がされて嫌なことはおそらく、相手にとっても嫌なことだと思います。ただ、「気持ち」は人によっても違います。自分では平気だと思うことでも、相手にとっては「いやだなあ」と思うこともあると思います。だから、**いつも、何をするときも、自分のことだけでなく、まわりのことや相手の気持ちを考えて行動してほしい**と思います。

もし、あなたが嫌な気持ちになるようなことがあれば、「やめて」「しないで」「今、いやな気持ちになったよ」と相手にしっかり伝えてあげてください。仲のよい友達であれば、なおさらです。

それでも、やめてくれなかったら、先生やお家の人など、周りの大人にすぐに相談してください。

いじめをした人は、すぐに「ふざけていた」「冗談のつもりだった」みたいな言い訳をします。

でも、そんな言い訳は通用しません。いじめはいじめです。私は金立小学校の校長として、絶対に「いじめ」は許しません。もしも、これまでに自分が行ったことが、「いじめ」だったかもしれない・・・と思ったことがある人は、この後、どうすればよいかをよく考えて、行動に移してほしいと思います。



「自分はそんなことには関係ない」と思っている人にお話しします。「自分はいじめなんてしないし、いじめられてもいい」と思っている人へのお話です。「見て見ぬふりをする人」「知らないふりをする人」「自分は関係ないという態度をとる人」まわりにそのような人がいることで、「いじめ」は広がります。止まらなくなります。私は、「知らないふりをする人」もいじめをしている人と同じではないかと思っています。ぜひ、自分の学級、自分の学年はもちろんですが、自分の友達や自分のまわりの人、学校全体にもっと関心をもって、みんなで金立小学校のことをよくしていってほしいなあと思っています。

みんなで、みんなが楽しく笑顔で安心して過ごせる金立小学校にしていきたいと思います。



6月に実施した「いじめについてのアンケート」へのご協力ありがとうございました。

記述していただいた内容等については、今後、学級担任と管理職を中心に対応させていただきます。